

日本海側拠点港としての機能強化



西港全景



東港全景

A-①

国際海上コンテナ機能の強化

舞鶴国際埠頭

B-②

国際フェリー機能の強化

前島埠頭

B-①

外航クルーズ機能の強化

第2埠頭

C-①

A-②



国際フェリーの拠点として

中国航路 週4便
韓国航路 週1便

既存北海道航路

韓国航路

京都舞鶴港

中国航路

太倉

上海

航空機より安く、コンテナより早い！ スピードボート投入による航路開設

国際フェリーの拠点として

- 韓国・中国の世界遺産と関西の世界遺産を結ぶ「シーアンドエア国際ツアー」の開発
- 日・中・韓共同プロモーションの実施により新たな広域的な国際需要を創出

韓国(慶州)、中国(蘇州)、日本(京都・奈良)等の世界遺産を巡る2国間周遊ツアーを開発し、日韓・日中による欧州等への共同プロモーションを実施

(具体的な内容)

若狭湾から最短距離の位置にある舞鶴－浦項の日韓フェリーを活用した仁川空港－浦項－舞鶴－関西国際空港のシーアンドエアなどの世界遺産を巡る二国間周遊ルートの日韓共同で開発するなど、今までにないグローバルな観光ルートを創出し国際プロモーションを展開

既に京都府、舞鶴市、浦項市は経済交流の覚書を交わし、本年度から本格的に取り組むことを確認

二国間、三国間の国際協力による新たなグローバル観光ネットワークの構築

国際海上コンテナの拠点として

中国航路 週4便
韓国航路 週2便
ロシア航路 週1便

ナホトカ方面
(ナホトカ・ポストーチニー)

ロシア航路

大連方面
(黄海・渤海)

韓国航路

京都舞鶴港

青島

中国航路

釜山

上海方面
(上海・太倉)

既存航路
... 新規誘致航路

既存施設を活用したコンテナ航路の充実

外航クルーズの拠点として

年間14回程度の寄港

小樽港

伏木富山港

京都舞鶴港

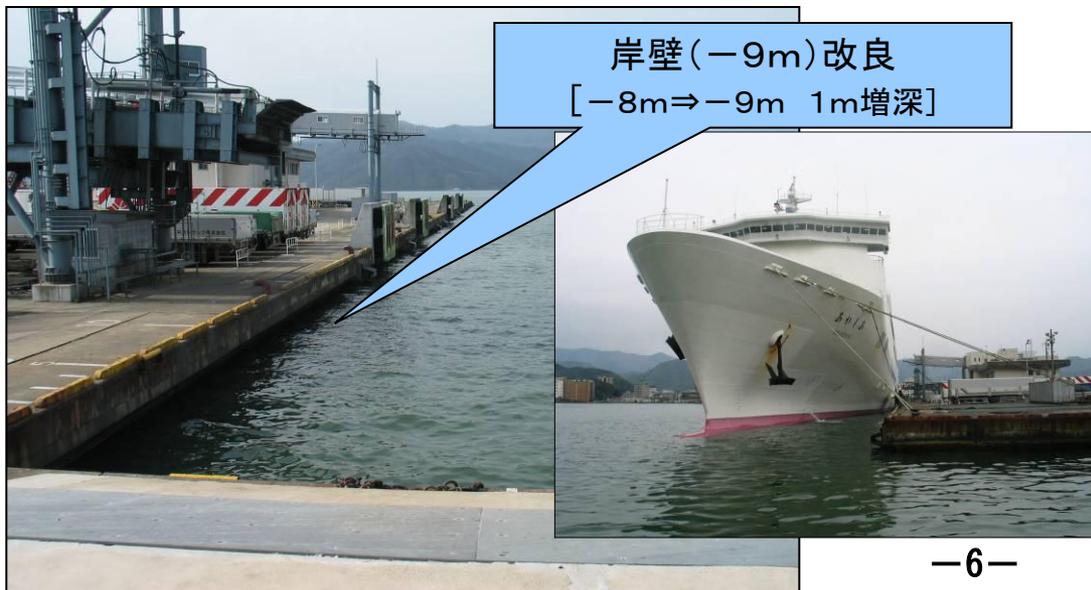
複合一貫輸送（フェリー）を支える事業



新日本海フェリー
舞鶴～小樽航路(1日1便)

船舶の諸元

総トン数 : 約17,000ト
航海速力 : 30.5ノット
車両積載台数: トラック158台
乗用車66台



舞鶴港のフェリー貨物は、内貿貨物の約8割を占めている。平成16年に高速船を導入したことで運航時間を約10時間短縮し、舞鶴～小樽間を約20時間結ぶフェリーの需要はさらに高まっている。

このような要請に応えるべく、平成18年に港湾計画を一部変更しフェリー船舶の大型化に対応するため岸壁の水深を8mから9mに増深する岸壁改良事業を進めています。

防災拠点機能の強化

京都舞鶴港は、海上自衛隊地方総監部(全国5カ所)、管区海上保安本部(全国11カ所)の双方が立地する、我が国唯一の港湾

●: 基幹的防災拠点

京都舞鶴港

堺泉北港

川崎港



堺泉北港 基幹的広域防災拠点

臨港道路・国道27号西舞鶴道路整備状況

